

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

発言者	会議の概要
総務課長	<p>1 開会</p> <p>それでは、第4回小鹿野町政策審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の会議は萩原委員より欠席連絡が、坂本委員より遅刻連絡がありました。</p> <p>なお、本日の傍聴希望者は5名です。</p> <p>前回の会議までオブザーバーでご活躍いただきました、埼玉りそな銀行の山本支店長につきましては、人事異動に伴い異動されました。</p> <p>後任の塩田支店長にオブザーバーをお引き受けいただきましたので、皆様にご報告いたします。</p> <p>それでは、はじめに小松会長よりあいさつを申し上げます。</p>
小松会長	<p>2 あいさつ</p> <p>(会長あいさつ)</p>
総務課長	<p>続きまして、小鹿野町長 森真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>
町長	<p>(町長あいさつ)</p>
総務課長	<p>次に議題に入りたいと思います。</p> <p>議長につきましては、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、小松会長へお願いしたいと思います。</p> <p>それでは小松会長よろしくお願いいいたします。</p>
小松会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議長ということで議事を進行させていただきます。</p> <p>議事の前に、埼玉りそな銀行小鹿野支店長の人事異動により、新たにオブザーバーをお引き受けいただきました塩田様より、自己紹介をお願いいたします。</p>
塩田オブザーバー	<p>(自己紹介)</p>
小松会長	<p>(1) 会議録署名委員の指名について</p> <p>次に、議題(1)会議録署名委員の指名についてですが、こちらにつきましては、宮林委員、須崎委員を指名します。</p> <p>(はいの声あり)</p> <p>よろしくお願ひします。</p>
小松会長	<p>(2) 第3回会議録について</p> <p>次に、第3回会議録についてですが、開催通知と一緒に第3回会議録を送付しましたが、記載内容、誤字等がございましたら、ご指摘をお願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>これで第3回会議録を確定します。</p>
小松会長	<p>(3) 意見交換</p> <p>次に、意見交換に移りたいと思います。</p> <p>最初に町からの説明をお願いします。小鹿野町の教育について、教育長よりお願いします。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

教育長	(小鹿野町の教育について資料に基づき説明)
小松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>折角ですから、皆さんからご質問、ご意見はありますか。</p> <p>ないようですので、私から一つ質問させていただきます。併設型の小中一貫教育校のところで、小鹿野高校との連携・交流というのがありますが、これは小鹿野高校の生徒が少なくなり、高校の存続を不安視する意見が多いですが、以前は中高一貫でやっていたと思うのですが、実際は小鹿野中学から小鹿野高校へはあまり行っていなかった気がします。今は小鹿野町も小鹿野高校もピンチであると捉え、ここをうまく利用して町の活性化のために一躍してもらいた。教育長にご苦勞頂き、県の教育長、小鹿野高校と繋いでもらい、小鹿野高校が魅力のある学校にしていってほしい。</p> <p>もう一つ意見ですが、教育はダムですから学校がなくなると急激に人口減少が起こると思う。職員もだが、町の経営に教育がいかにかを考えていない。学校が減ると職員の人件費が激減し、町の消費も減ってくる。こういう事を真剣に考えて検討していただきたい。</p>
吉田委員	<p>学校の勉強としてのカリキュラムは当然ですが、スポーツの部分でも活躍されているようです。なかなか表だってこないのが、芸術文化の部分ではないか。歌舞伎は勿論ひとつの芸術であると思われまし、美術・演劇・音楽などの芽をもった子供達も沢山いるのではないかと思います。色々な可能性をもった子供達の芽を発展させるような教育をしていただくと良いかと思ひます。絵画の世界ですと本人が亡くなってから有名になったりすることはありますが、こういった事が定着してくれば良いのではないか。</p> <p>この後の提案の中で述べようと思ひましたが、ここに来ればいつでも歌舞伎が見られるような、文化の香りが高いという部分が子供の頃から始まれば、この地域に定着していつもらえるのではないか。もちろん色々な手法や設備があろうかと思ひますが、是非芸術・文化の部分も力を入れてほしい。</p>
教育長	<p>2本柱として心の教育というのがございますが、この中に色々な形で盛り込んでいきたいと思っております。演劇・音楽等の本物にという機会はこれからも確保していきたいと思っております。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。それでは次に移りたいと思ひますが、資料の説明を事務局よりお願いします。</p>
事務局	(補助金の実績について資料に基づき説明)
小松会長	<p>ありがとうございました。これにつきまして質問、意見はありますか。</p> <p>坂本委員も出席されましたので、時間の都合で補助金についての補足説明をお願いします。</p>
小松会長	<p>(4) 各委員からの提案について</p> <p>町からの説明は他にありますか。なければ次に入りたいと思ひます。</p> <p>各委員からの提案を山口委員からお願いします。</p>
山口委員	<p>最初に、これから町の協力を得てロシア(歌舞伎公演)に行かせていただきますので、子供達はロシアを良く見て来ていただき話を頂ければ思ひます。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

それでは提案に入ります。

小鹿野は「歌舞伎の町」と町の人や私も自負しています。実際、日本有数の歌舞伎の里です。歌舞伎団体は小鹿野歌舞伎保存会を始め、耕地の鎮守の森で歌舞伎を奉納する氏子さんなど16団体ほどあります。また、太鼓団体15団体、獅子舞・神楽・八木節など10団体ほどあり、合わせると50近い団体があります。真に郷土芸能の宝庫です。これらの他民謡・舞踊・琴・大正琴・三味線などの団体もあります。

この現状をベースに、週末(土日、祝日)に観光客を誘致してはと思います。

メインの歌舞伎だけで年間を通じて行うのは現段階では無理ですが、諸団体がローテーションを組めば、1団体は半年か3か月に一度の出演で年間公演が可能かと思えます。

埼玉県でも貴重な農村舞台、舞殿、神楽殿は秩父郡市で多くあります。中でも、もっとも貴重なのが三山地区にある古鷹神社の神楽殿と思います。昭和初期の建物で、唯一の芝居小屋です。町から少々離れていますが、3年前に50年ぶりに歌舞伎公演が復活し、非常に好評でした。手入れをすれば本物の芝居小屋になります。

金丸座や内子座のように大劇場は各地に残っていますが、こんな小ぶりの芝居小屋は本当に珍しいものです。昔ながらの棧敷席から飲み食いしながらの芝居見物や郷土芸能が堪能でき、境内には大きな杉や宮沢賢治の歌碑、近くに「賢治の道」、広い駐車場もありますので小鹿野町の新名所になります。将来は、氏子さんには申し訳ありませんが、町中に移築し町内の例大祭での奉納歌舞伎や奉納神楽等の祭日にも組み込み、在京の旅行会社とタイアップして「一年中、郷土芸能が見られる町」を売りものに、何かを加え「小鹿野ツアー」をと思っています。結構、普通の日本を観たい外人さんに受けるかもしれません。東京に近い「普段着の山里と郷土芸能」です。現状では小鹿野観光交流館、移動式の花道などをちょっと手直して、公演会場で始めてはどうでしょうか。

芸能ツアーの追加の寄り先は「町には宝」があります。昭和の宝です。

例えば、

- ①町民から寄贈された体育館一杯にある昭和を生き抜いた生活、民族資料。消えかける産業、林業遺産
- ②すでに展示状態になっている化石、縄文時代等の考古資料及び町内発掘現場資料
- ③小鹿野町の人や各地の廃業した歌舞伎一座から寄贈された幕、かつら、衣装、大小道具、床本等
- ④寄贈された日本、外国の多数の郷土玩具、これは私が寄贈しました。
- ⑤寄贈された絵画、書、多数の書籍
- ⑥小鹿野町内の動物の標本、昆虫の標本など
- ⑦舞伎(地芝居)の秩父郡市及び全国の写真及び映像
- ⑧宮沢賢治関係の資料及び、歌碑巡り案内、写真等
- ⑨地元の作家、大谷藤子の資料

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>⑩地元の力士、剣武さん資料</p> <p>⑪オートバイ名車、歴史等</p> <p>これらを1か所に展示、例えば「山里の昭和のお宝博物館」</p> <p>場所は閉校した学校。テーマ別に教室を使用してはいかがですか。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。特に聞きたいこと、確認したいことがあれば挙手をお願いします。ないようでしたら、次にいかせていただきます。次に須崎委員をお願いします。</p>
須崎委員	<p>私は観光と教育についてです。</p> <p>観光については、スピード感をもって、モンベルさんや近畿日本ツリストと協力し、交流人口、関係人口を増やしてもらおう事業に感謝をしています。秩父地域、小鹿野町は都心に近いので、これからもやっていけると思っていますので、皆さんのご協力、ご理解をお願いします。</p> <p>教育についてですが、私の子供も丁度高校進学を考える時期ですが、自己肯定感は家庭で行うべきものと考えていたが、家庭の中でこうした関係ができれば学力も上がってくると思います。というのが個人的な意見です。そうした中で取り組み(教育委員会において)を行って頂き平均が上がってきているというのはありがたい事であります。</p> <p>現在はネット時代ですので、学生時代を都内で過ごしその後小鹿野町へ戻って来て頂けるかが心配であります。私は自営業を営んでいますので、誰かが戻って来てもらうと思いますが、子供達の就職等も考慮していかなければならないかと思えます。</p>
小松会長	<p>次に宮本委員をお願いします。</p>
宮本委員	<p>私も観光業に関わっていますので、国の観光局のセミナーに参加しましたが、日本自体が観光立国を目指すという事でした。</p> <p>また、埼玉県のセミナーに参加した時、県内の市町村は63ありますが、小鹿野町の総所得が62位、256万円という事でした。そうしますと進学した子供達が帰ってきて働く場所がないという現実があります。</p> <p>1人の定住者が町に落として頂くお金が約120万円くらいだそうです。日本人観光客が1人、1泊して使っていただくお金が約5万円くらいだそうです。外国人だと1人が15万円くらいだそうです。</p> <p>私も今インバウンドの関係でやっていますが、7・8人の外国人の方が来て頂ければ1年間1人の定住人口が使うお金を賄える単純な計算にはなりますが、観光立町を目指した方が良いのではないかと思います。</p> <p>山口委員の提案のように歌舞伎を利用してプロモーションを行い、前回提案をさせて頂いた、入湯税を返還して頂き歌舞伎の充実、観光動画の撮影等に利用して、海外にも小鹿野町をPRしていきたい。</p> <p>グローカルという言葉が取り上げられているが、グローバルとローカルを混在させた言葉であります。ローカルな部分を利用して外国人向けにPRしていく魅力が小鹿野町にはあると思いますので、「グローカル小鹿野町」で世界に発信できればと思っています。メディアへのPRも必要になってきますので、今回の歌舞伎のロシア公演なども新聞社等の取材も受けていると思いますので、メディアへのPRの発信にも力を入れてい</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	ければと思っています。
小松会長	ありがとうございました。次に黒澤委員お願いします。
黒澤委員	<p>国が中山間地域の農業振興をどのように考えているか調べてみましたが、そうしましたら、中山間地域農業振興指針というのが見つかりまして、その中で小鹿野町も取り組みそうな農泊というのを推奨しておりました。</p> <p>先程役場の職員から補助金の説明がありましたが、そうした取り組みに補助金もあるようですので、大きな出資も必要なく、すぐに取り組めるのではないかと考えています。進め方は民泊の延長で農業体験が出来るような方法をとれば実現可能ではないか。例えば週末農業で民泊してもらいながら農業体験をしてもらうのも良いのではないかと考えていました。</p> <p>私の所でも地元の小学校の農業体験で収穫をさせているが、小学生だときゅうりの収穫をしていると楽しそうにしている。首都圏の小学校あたりであれば、一つの畑を確保しておけば教育との兼ね合いで運営できる。というのもひとつ考えられると思いました。小鹿野町の資源として考えられるのが、川がすごくきれいですので、溪流であると思います。</p> <p>この川を何とか観光に活用できないかと思えます。安易な発想ですが、観光釣り場とか、キャンプ場、コテージで活用出来ればと思います。春先から秋口までは活用できると思われますので、交流人口を増やすうえでは効果があるかと思えます。</p> <p>畑が荒れている所が多く景観が良くないと思う。人を呼び込むときに景観を良くしておかないと難しいと思う。景観の維持が出来るのは、定年退職者や年配の方々に頑張ってもらいたいと思いますが、町のイベントとして無人販売をしている箇所のマップを作成しPRしていくとか、スタンプラリーを企画し利用頻度に応じ景品を準備するようなイベントを計画していただければ、作物の廃棄も減り、作物の耕作を促す事により田畑も整備するのではないかと。そして年配の方々の活躍の場も提供できると思う。</p>
小松会長	ありがとうございました。ここで、前回の会議のあと私と事務局でコンパクトシティについて国土交通省を訪問し、制度について説明を聞いてきましたので概要説明をお願いします。
事務局	(概要の説明)
小松会長	補足説明ですが、国土交通省では現地に出向いての支援等もやっているとのことですので、これから研究する場合はそういったことも考えていただきたい。 それでは吉田委員お願いします。
吉田委員	<p>手作り品の工房を誘致することにより、定住人口の増加が見込める。</p> <p>展示会を開催するためには、場所代を払って開催していると思うので、何かのイベントと絡めそれを小鹿野町へ招致し、展示会の開催をきっかけに工房自体を町へ招聘することは可能ではないか。それが発展すれば輪が広がっていくのではないかと。</p> <p>先日、小松会長等と倉尾地区へ視察に行きました。オフロードバイクを走らせるエリアとして、住民から騒音の苦情が出ないような場所が、なかなか無いのでそういう人を小鹿野に呼べれば良いのではないかと。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>設備投資が必要となるが、バイクメーカー等と提携し、場所は町が提供して設備面は提携先をお願いしていくとすれば可能かと思う。それからバイクのツアーの紹介もしていけるのではないかと思う。</p> <p>小鹿野用水は整備後60年位経過していると思う。昔は相当な水量があり、用水で泳いだという話も聞いた事がある。</p> <p>この用水を利用して、ミニ水力発電を設置し大学、企業等と共同で研究していき、ワークショップの開催、水力発電の大会を開催できれば面白いのではないかと。</p> <p>そしてそこで得られた電力を地域の防犯灯等に活用出来れば面白みが増し、観光にも繋がっていくのではないかと思う。</p> <p>絵本美術館は全国に多くありますが、東京近郊ではあまり見ません。新刊のものもあると思いますが、ほとんどが子育ての時期に使ったもので、引き取ってもらえれば提供しますという人が沢山いると思う。</p> <p>小鹿野町は図書館の整備は非常に進んでいると思っています。絵本の他に紙芝居の展示館のようなものを兼ね備えた絵本美術館、絵本紙芝居の家みたいなものを整備してはどうか。</p> <p>秩父はジオパークということで連日多くの方が訪れています。小鹿野町にも宮沢賢治の碑、ようばけ、パレオパラドキシア等がございます。その中で私どもが昨年「秩父金山の会」というのを結成しまして、「金山の会」というのは秩父鉦山から両神山の八丁峠を越え三田川地区を通り、両神から三峰口に鉦石を運んでいた索道が存在しております、そのことについて検証する会であります。先日第2回の語り伝える集いを開催したところ、第1回は全員で70名程の参加者があり、今回は30名程の参加を頂き語る会を開催しました。30名の内20名が町外の方で遠くは千葉県から参加して頂きました。私たちは産業遺産と捉えていますが、鉦山マニアの方が全国には沢山いますので、納宮地区の所を整備できれば観光に繋がっていくと思う。鉦山で展示をしていくようですので、それと絡めて実施出来ればいいと思います。</p> <p>路面電車は日本の各地に残っていますが、路面電車ですと架線を張らなくてははいけない。架線を張ると小鹿野の春祭りが出来なくなってしまいますので、架線の必要ないケーブルカーを走らせれば、パフォーマンスとしてもいいのではないかと。</p>
小松会長	ありがとうございました。次に宮林委員お願いします。
宮林委員	<p>日本の本格的なふるさとを創ったらと思います。なぜかという首都圏で約1,300万人の人達を対象として、小鹿野町には農民文化がありますので、本格的な農民文化として一つは環境であります。豊かな自然と花もありますので、そういったものを健康体験ということで巡っていくような位置付けにしてみてもどうか。昔から農村の方々は歩く事を中心に行っていますので、景観だと思えます。二つ目は歌舞伎だと思えます。これは日本のふるさとの中で意味合いの高いものでありますので、これを大人から子供まで参加していることは素晴らしいことだと思います。さらにロシアとの関係性が出てくるとPR性が高いと思えます。三つ目にはもてなしということで、来た人達とどう絡むかということだと思います。そこで案内人を作りあげてやっていけばと思っています。具体</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>的には、一つは地域づくりに向けて総合的な仕組みをつくる。総合的な仕組みは日本の本格的なふるさと再生ということだと、最近インバウンドで外国の方も日本の奥にも入ってきているので、まさにふるさと志向ではないかと認識している。2番目に首都圏から小鹿野への人の流れをどう作っていくかで、ふるさと回帰、里山体験を触れ込んでいく。これをインターネットでやっていってはどうか。それからもう一つ大事なことは交流ですので、広域な交流・対流を考えて、そこに安心・安全食の生産だとか、健康体験とかでここで生きがいを感じるような、ふるさとにしていったらいいと思います。それが結局教育にも繋がってきますし、自分のふるさとはこんなに良い所なんだという教育をすれば必ず戻ってくると思う。そうして首都圏との共生の中で考えていければと思います。</p> <p>それから少子化対策は非常に大切なので、抜本的にやっていかななくてはいけない。関係人口を増やしていくことだと思うので、こういったことから小鹿野のファンを増やして、ファンを定住化していく仕組みを創っていくことではないかと思う。日本のふるさとであるためには、自然、森林環境、河川、溪谷とかの環境であり、町民参加で景観を整備していく必要があると思う。2番目に元気が出る、生きがいを感じるということは、良い景観の中で体感できるセラピーとかが大事である。それを単に体感するのではなく、案内人により色々な体験をしてリフレッシュさせることにより、さらにふるさとの誇りに繋がっていく。誇りというのが、歌舞伎、祭り、体験参加だと思う。そしてそこで学ぶという姿勢が大事であり、食であったり、健康であったり、環境教育ESDを体験学習できる整備が必要である。</p> <p>それからもう一つは、ふるさとで起業するメンバーを集めていき、食とか健康面で行ったり、案内人のブランド化をしていき定住環境に繋がっていく。</p> <p>小鹿野ふるさと産業構想ということで、入ってくる人のニーズに対応したものを、町で整備して小鹿野ふるさと産業構想として、本格的なふるさとのイメージを持たせる。地域にある資源をうまく使って一次、二次、三次を繋げてネットワークを作るのが基本的な進め方ではないかと思う。これを進めるには地域資源の見直しが必要であると思うので、すべての資源をリストアップする位のことをして、リサーチをかけてから具体的な組織の検討に入っていかななくてはいけない。町としてやっていくには株式会社を作りその会社を先頭で引っ張っていかないといけない。そこで、小鹿野ふるさと総合商社みたいなものを提案したい。</p>
<p>小松会長</p>	<p>次に、元オブザーバーの山本さんが提案を置いていきましたので、事務局で説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (山本オブザーバー)</p>	<p>前回までご参加いただきました山本支店長が、提案として町長へ提出がありましたので、3点ほどご報告をさせていただきます。</p> <p>薬師の湯、両神の湯(両神荘)を中心とした、温泉を柱とした癒しゾーンを小鹿野町を売り出すコンテンツにして、秩父⇒西武鉄道⇒祭りの湯(温泉)の連鎖活用。</p> <p>大学入試にITの知識が問われる時代ですので、プログラミング教室を小中学生の補習講座として開講し、将来プロミラミグ教室の生徒が小鹿野町でIT起業起こせれば</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>いい。</p> <p>小鹿野町は緑豊かで水、花がありますが、これほどこの田舎でも同じです。小鹿野町は田舎だけど東京に近く、花と歌舞伎と名水をどこまでPRできるか、何を柱にしてPRしていくかを考えていくべきだと思う。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。次に坂本委員お願いします。</p>
坂本委員	<p>まず、遅れての参加申し訳ありませんでした。</p> <p>先程、教育長のお話の中で教育費と教職員の構成の関係で、町負担分の部分で教職員を手厚く配置していると感じました。教育はどうしてもお金と時間がかかりますが、次世代を担う人づくりの投資は目に見える形ではないですが大切だと改めて思いました。町の教育理念ですが、「子供は町の宝」ですので、町全体となつての学校支援ということは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>県では県立高校の統廃合が検討されてきているようです。検討の内容は少人数なので廃止するといった単純な発想ではなさそうです。県の教育局は特徴ある学校づくりという点を見ているようです。そういった部分で小鹿野高校も、現在の野球部のような町をあげて支援していく姿勢のようなことを、一つの手法として特色ある学校づくりを続けていってほしい。</p> <p>先だって岩崎県議、森町長等で、小鹿野高校の存続について、力強く県教育長へ訴えていただきました。地域の方々が小鹿野高校の重要性について裏付けをもつての事だと思えます。</p> <p>県の表彰制度がありますが、小鹿野高校を表彰しようと町教育委員会、高校と情報交換をしまいましたが、時間の関係等で今年度は見送りました。色々な事を手掛けかけ、特色のある活動されていますので、そういうところを伸ばしていただければと思う。</p> <p>小鹿野町では地域おこし協力隊を活用しており、行政の発想は限界がきているとおもいますので、民間感覚の新鮮な新しい考え方、今風な考え方を取り入れていくべきだと思う。行政はそういう事をいかにやり易くするか、強化する後押しをして町の活性化に貢献できれば良いのではないかと思います。</p> <p>今回の提案をいくつかでも事業化し、予算がついてくれば県としても財政支援がし易くなります。政策審議委員、地域おこし協力隊の意見等で事業化していければ町の活性化に繋がっていくと思う。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。小鹿野高校と小鹿野警察署は県の施設ですので、町にとってはランドマークでありますので、機会があるごとにお伝えいただきたいと思えます。</p> <p>それでは、本日初めてオブザーバーとしてご参加されました塩田さん、何かありましたらお願いします。</p>
塩田オブザーバー	<p>初めて参加させていただき皆様のご意見をお聞きして、小鹿野町は見るべきところがコンテンツとして沢山ありますが、ビジュアル化があまりないのが第一印象です。西武鉄道(秩父)では有名な女優を使い宣伝しているのでインパクトがあります。小鹿野町にも春夏秋冬で名所があると思うので、それをビジュアル化していければ、観光客の動機付けに繋がると思う。それを実現するには民間の力を借りるのも良いのではないかと。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>今後港区との提携でアンテナショップ等を出店し、PR動画を流しておくことにより外国人等も興味を持つのではないかと。</p> <p>生産人口を呼び込むためには、中学校の廃校を利用して歌舞伎を取り込み、それを核にしてショップを充実させショッピングモールの的に活用するのも良いのではないかと。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。それでは、傍聴人の方でご意見がありましたら挙手をして意見ををお願いします。委員会で検討していきたいと思えます。</p>
傍聴者1	<p>農業は食べる物を作るのが仕事ですから、食べる物がおいしければ人が集まり、リピーターになります。小鹿野町の特産はきゅうりですけど、旅館、民宿できゅうりがメイン料理ではないので、きゅうりをできるだけ食べて頂き、気に入れば買ってもらえるような方法を展開して行って頂きたい。その他の野菜もきゅうりと併せて売り込んでいければ良いと思えます。</p> <p>小鹿野町で独立して起業する場合は農業以外では難しいのではないかと思えますので、農業をPRして頂きたい。農業は雇用、経済効果にも十分可能性があると思えます。</p> <p>さらに、若い人は無農薬野菜や有機野菜を作っている方が多いと思えますので、おいしくて安心な野菜を生産する機会が増えることにより、人口流出も防げるのではないかと。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。その他ありますか。</p>
傍聴者2	<p>私も6年前に都市からこちらに来まして、現状をみると小松会長ほか委員各位の方々の意見はまさにそのとおりであります。行政がどれだけ民間意識をもってやれるかどうかであると思えます。現状の小鹿野町は、町民には気力も体力もなくなっているの、行政の執行部にやっていただかなければならない状況である。</p> <p>私は85haの山林等を独自にやっていますので、職員の人達に成果を示そうと思っています。</p> <p>今回は小松会長、今井職務代理人などは、本当の話をしていただき良かったという風に思っています。また、それを聞き入れる森町長の器もあろうかと思えますが、全職員の方々は現場を歩いて、汗を流してやっていくしかないと思う。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。それでは今井委員をお願いします。</p>
今井職務代理人	<p>小鹿野高校についてですが、今山村留学等の制度を利用して生徒を受け入れているようですが、以前よりも盛り上がってきている風潮は感じています。</p> <p>その中で、海外の生徒を受け入れてはどうかという意見です。手続きに関しては県の教育委員会の協力を得て、例えば旅館等で2人位受け入れていただき、休日はそこでアルバイトをさせたりできれば良いのではないかと。県立高校で海外からの学生を受け入れれば話題性もありますので、マスコミも取り上げてもらえると思う。</p> <p>また、野球以外にも地元の指導者を利用して、相撲やバドミントンなどを支援して強い選手を育てていくのも一つの手ではないかと。</p> <p>もう一つは、小鹿野高校の教育レベルを上げていくというのも、やってみる価値はあると思う。これは私の夢であり、希望です。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

	<p>小鹿野高校は核でありますので、町にはなくてはならないものだと思いますので、是非存続できるよう町長にも頑張ってもらいたと思います</p> <p>広域的にでも産婦人科が整備できれば、結婚も進むのではないかと思います。</p> <p>来年から森林環境税が入ってくると思われます。港区とも交流を推進しているのであれば、小鹿野町の木のPRをしていただきたいと思う。これからますます厳しい時代くるので、森林について知恵を出し合って今の内に官民一体となって行動していかないといけないと思う。</p> <p>小鹿野町が歌舞伎で盛り上がっているのも、町の木を使って歌舞伎小屋を造るといったことも森林環境税で出来るのではないかと思いますので、それがPRに繋がってけば良いと思います。</p> <p>事業化するのに一番難しいのは観光だと思う。観光は色々な仕掛けを常に行っていかななくてはいけないので、非常に難しいと思います。しかし、小鹿野町の利点は東京に近いということがありますので、日本人口の約4割が関東圏に住んでいますので、それを利用してうまく観光業を町が協力し潤っていってくれば良いのではないかと。</p>
<p>小松会長</p>	<p>最後に私の意見を申し上げます。</p> <p>今までの小鹿野町は基本的に政治不在であった。職員の問題だけではなく政治の問題であると思う。政治が町民に夢・希望を与えていかなければいけない。そこで、私は総合戦略町政構想ということで、税金のいらぬ町をつくる。町民税はいらなくて、事業収入で賄えるような町をつくり、企業が町に税金が払える町にしていかななくてはならない。そのためにはコンパクトシティ化して、庁舎等に高齢化対策、災害対策を含めた住宅を地区に数か所つくり、住民がそこに集合するような仕組みを構築し、路線バス、買い物等ができるように繋いでいく。</p> <p>また、町内を歩いてみた時、手入れのされている林がほとんどない。たまたま西日本豪雨のような雨が降らないから大丈夫であるが、あれだけの豪雨があるといっきにひどい事になると思う。今の内に考えておかないと大変な事になるのではないかと。そういった事を考慮して住民を中心市街地へ集中させ生活環境を整える事により、庁舎等を建設すれば良いのではないかと。</p> <p>町は財源が厳しいと思われますので、補助金と民間の力を借りてやっていけば良いのではないかと。</p> <p>小鹿野町の人口が減少し衰退したのは、森林業の破たんが考えられるので、森林を再生させていく施策を講じなくてはいけない。例えば、谷を埋め立て最低でも5万キロワットくらいのメガソーラーを設置し営業してはどうか。</p> <p>また、その他の埋め立てした土地は定住者に提供していけば良いのではないかと。小鹿野町は山からお金を生むような仕組みを考えていかななくてはならないと思う。</p> <p>町の企業化によって、収入をあげれば税金がいらなくなるのではないかと。</p>
<p>小松会長</p>	<p>その他何かありますか。</p> <p>ないようですので、事務局で次回の予定をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回は9月25日か28日で町長の日程等考慮し、通知をさせていただきます。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第4回)

小松会長	本日は各委員より貴重な意見をいただき、町での検討段階で委員の皆さんのご協力をいただく場合がありますので、ご了承ください。 以上で議長の職を降ろさせていただきます。
総務課長	長時間にわたりまして、慎重ご審議いただきまして大変ありがとうございました。 以上で本日の会議を終了させていただきます。大変ご苦勞様でした。